

戸田市 事務事業評価 《事後評価シート》

事務事業名	21117 スポーツ推進事業													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課					担当	スポーツ担当			
組織コード	R4	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	10	05	01	02	01	記入日	令和 4年 6月23日
	R3	13	10	00		R3	01	10	05	01	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策	11	31	32	○ 対象	
施策	07	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実										● 対象外	
事業期間	平成16年度～令和7年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法				関連計画 施政方針		戸田市スポーツ推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市民等												
事業目的	スポーツ・レクリエーション活動の推進を図り、市民が生涯を通じて楽しむことができる環境をつくる。												
事業内容	スポーツ推進審議会に係る事務。スポーツ推進計画の策定・進捗管理、スポーツ団体の育成・支援、各種スポーツ・レクリエーション教室の開催、市民体育祭やマラソン大会など市民主体によるイベントの開催等。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	スポーツ推進 審議会等スポ ーツ推進全般 に係る事務	スポーツ推進 審議会等スポ ーツ推進全般 に係る事務	スポーツ推進 審議会等スポ ーツ推進全般 に係る事務	スポーツ推進 審議会等スポ ーツ推進全般 に係る事務	スポーツ推進 審議会等スポ ーツ推進全般 に係る事務	
	事業費	17,466	37,119	37,119	37,119	37,119	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	17,466	37,119	37,119	37,119	37,119	
	人件費	25,618.8	25,618.8	25,618.8	25,618.8	25,618.8	
	投入 人員	常勤職員	3.7人	3.7人	3.7人	3.7人	3.7人
		非常勤職員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人
事業費+人件費		43,085	62,738	62,738	62,738	62,738	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	スポーツイベントの開催数	市主催スポーツイベントの開催数	回	3	3	3	3
	事務事業成果①	マラソン大会の市民参加率	戸田マラソン大会の市民参加率	%	30	30	30	30
	事務事業成果②	市民体育祭地区大会の参加者数	市民体育祭地区大会の参加者数	人	7,000	7,000	7,000	7,000
目標達成状況の分析	C：全ての目標が達成できなかった。 <判断理由> スポーツイベントの開催について、マラソン大会と市民体育祭地区大会は、新型コロナウイルスの影響により中止となったが、市民体カテストは実施することができた。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 年間を通して戸田ポートコースや彩湖でのポート教室、カヌー教室の事業計画を策定し、実行している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 経費削減に努め、適正に運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 教室は専門的な知識を持った外部講師に委託するなど、効率的に事業を行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 参加費は保険料を基本としており、備品等の運搬費は経費の一部を受益者負担とし、適正な範囲で行っている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	
令和4年度に実施する取組内容	

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> スポーツ推進審議会において「第2期戸田市スポーツ推進計画」の進捗状況を報告するとともに、審議された意見を事業に反映させながら、スポーツ情報の一元化や地域資源の一層の活用を図り、「する」「みる」「ささえる」スポーツへ参画する市民を増加させる。

事務事業名	50610 オリンピック・パラリンピック推進事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	オリンピック・パラリンピック担当		
組織コード	R4	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	10	05	01	02	85	記入日	令和 4年 6月22日
	R3	13	10	00		R3	01	10	05	01	02	02		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策				● 対象		
施策	07	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実										○ 対象外		
事業期間	平成29年度～令和3年度													
根拠法令 通達等	スポーツ基本法				関連計画 施政方針			戸田市スポーツ推進計画 令和2年度施政方針						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	市民													
事業目的	東京オリンピック・パラリンピックを通じてスポーツの力を市民に伝えることで、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図る。													
事業内容	オリンピック・パラリンピック事業推進本部及び実行委員会を設置し、関連する事業を実施する。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (埼玉県ホート協会)													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	オリンピック・パラリンピック事業の推進					
	事業費	10,936	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	10,936	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	
	投入 人員	常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		10,936	0	0	0	0	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	市民に対するオリパラ関連イベント実施回数	回	2	0	0	0	0
	事務事業成果①	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の受入	国	1	0	0	0	0
				1	—	—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 市民に対するオリパラ関連イベントについて、令和3年7月6日にオリンピック聖火リレーが本市を通過した日に、市内小中学生が書いた手紙を炬火台に投函する式典を行った。新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、オリパラ関連イベントは1件のみとした。東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の受入について、令和3年7月22日～7月31日にオーストラリア代表カヌーチームが、戸田ポートコースで東京オリンピック事前キャンプを実施した。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 新型コロナウイルスの感染状況により当初計画を見直したものの、コロナ禍での実施方法を検討して安全に実施した。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 炬火台モニュメントの設置において、埼玉県の補助制度を活用し、経費の削減に努めた。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、適正に行った。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 広く市民に向けた事業であり、適正な範囲である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	
令和4年度に実施する取組内容	

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input checked="" type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 東京オリンピック・パラリンピック終了後は、ボートのまちとしての啓発や市内スポーツ・レクリエーション全体の推進に努められるよう、現状との取り組みと融合を図る。

事務事業名	21118 スポーツ施設管理費													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R4	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	10	05	02	01	01	記入日	令和 4年 6月24日
	R3	13	10	00		R3	01	10	05	02	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち					再掲施策	10			○ 対象		
施策	07	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実									● 対象外		
事業期間	昭和53年度～令和6年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法				関連計画 施政方針		戸田市スポーツ推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市民、市内スポーツ団体、スポーツ施設利用者												
事業目的	市民がスポーツを身近に楽しめる環境の充実を図る。												
事業内容	市民や市内中学校のボート部が使用するボートを格納するための戸田市立艇庫や、中町テニスコートの維持管理。スポーツ施設予約システムの保守、管理等。学校施設開放事業の実施。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	スポーツ施設・市立艇庫の管理、学校施設開放	スポーツ施設・市立艇庫の管理、学校施設開放	スポーツ施設・市立艇庫の管理、学校施設開放	スポーツ施設・市立艇庫の管理、学校施設開放	スポーツ施設・市立艇庫の管理、学校施設開放	
	事業費	17,821	17,395	17,395	17,395	17,395	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	17,821	17,395	17,395	17,395	17,395
	人件費	11,078.4	11,078.4	11,078.4	11,078.4	11,078.4	
	投入 人員	常勤職員	1.6人	1.6人	1.6人	1.6人	1.6人
		非常勤職員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人
事業費+人件費		28,899	28,473	28,473	28,473	28,473	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	学校施設開放の登録団体数	市内小・中学校の学校施設開放登録団体数	団体	230	230	230	230
	事務事業成果①	学校施設開放の活動人数	学校施設開放の年間活動人数	人	400,000	400,000	400,000	400,000
					229	—	—	—
					338,978	—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	<p>C：全ての目標が達成できなかった。</p> <p><判断理由> 新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響や、スポーツ施設及び学校施設の夜間利用停止をうけ、活動人数が減少したため、活動、成果ともに目標達成に至らなかった。</p>							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B：施策の目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：経費は適正な範囲である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：事業手法は適正な内容である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 地域住民のスポーツ・レクリエーションの活動の場としての需要は根強く存在し、スポーツを楽しむ環境づくりに貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 経費削減に努め、適正に運営を行っている。
	B	B	B	<判断理由> 管理委託や他機関と連携し、適切な施設管理運営を行っている。
	B	B	B	<判断理由> 中町テニスコート及び市立艇庫について、周辺環境の整備等を行い、関係団体と協議しながら必要最小限の経費で事業・活用を検討していく。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	
令和4年度に実施する取組内容	

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<p><方向性の判断理由・取組方針> 中町テニスコートは、必要最小限の経費で事業を継続していく。また、ポートコースに設置した市立艇庫は、埼玉県ポート協会と協議しながら活用を検討していく。</p>

事務事業名	21120 スポーツセンター管理運営費													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R4	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	10	05	03	01	01	記入日	令和 4年 6月22日
	R3	13	10	00		R3	01	10	05	03	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策	10	31	● 対象		
施策	07	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実									○ 対象外		
事業期間	平成16年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針		戸田市スポーツ推進計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：1-4、3-1												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	市民、在勤者												
事業目的	地域スポーツの拠点として、施設の安全な管理運営を行う。スポーツに関連する各種教室を開催し、スポーツ活動の充実を図る。												
事業内容	スポーツセンターの管理運営、スポーツ施設の貸し出し、スポーツ教室の開催。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input checked="" type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	センターの管理運営及びスポーツ教室の開催	センターの管理運営及びスポーツ教室の開催	センターの管理運営及びスポーツ教室の開催	センターの管理運営及びスポーツ教室の開催	センターの管理運営及びスポーツ教室の開催	
	事業費	250,147	214,529	218,529	240,627	158,009	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	3,642	3,642	3,642	3,642
	一般財源	250,147	210,887	214,887	236,985	154,367	
	人件費	5,539.2	5,539.2	5,539.2	5,539.2	5,539.2	
	投入 人員	常勤職員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		255,686	220,068	224,068	246,166	163,548	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	スポーツセンタースポーツ教室の参加者数	人	5,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	事務事業成果①	スポーツセンターの利用者数	人	17,544	—	—	—	—
	強化KPI①	実施回数	回	350,000	300,000	300,000	300,000	300,000
				319,079	—	—	—	—
				5	5	5	5	5
				5	—	—	—	—
目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> スポーツ教室の参加者数については、充足率の高い教室を実施する等実施方法の検討を行ったため、目標を達成することができた。スポーツセンターの利用者数については、第1競技場が令和4年3月に新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用されていたこともあり、目標の達成に至らなかった。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	1年度	2年度	3年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 地域スポーツの拠点として施設管理に務め、教室開催を実施し、市民のスポーツ推進に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 新型コロナウイルスの影響による利用制限等のため、収益が減少しているが、指定管理者制度により、経費を抑えながら維持管理を実施し、適正な運営に努めている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	1年度	2年度	3年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 指定管理者により、高齢者向けの教室等、市民の健康志向やニーズに合わせた様々な教室事業を展開している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	1年度	2年度	3年度	C：受益・負担の一部に見直しが必要である。 <判断理由> 今後、受益者負担の方針に鑑みて、料金設定の検討を行っていく。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に実施した取組内容・効果	
令和4年度に実施する取組内容	

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 教室事業、施設貸出については、市民のニーズに合わせた事業を展開し、一層のサービス向上を図っていく。なお、施設料金の見直しについては、施設の改修計画を考慮しながら検討を進めていきたい。